



八頭町にも、
有名な歴史の1ページに
関係した人物がいたんだぴょん♪

★ゆかりの人物

大江広元(1148~1225年)
因幡国の国司として大江神社の位を高めた

儒学を専門とする京都の下級貴族・中原広季の養子で、実父は大江維光とされています。順徳天皇の頃(1211~1222年)「正一位大権現」に進み因幡国主大江広元の氏神となり崇敬された。

★ゆかりの人物

梶原景時(1140?~1200年)
安徳天皇の追手 安徳天皇潜幸説

壇ノ浦で亡くなったとされる安徳天皇であるが、平知盛の策によって女官や武将と共に戦場を離れ、因幡国の港に上陸を果たした。一行は内陸へ入り、一時因幡の国府である岡益に身を寄せる。しかし人目につきやすいために、さらに山を越えて奥地へ逃れ、ようやくここで行宮を置いて、終の棲家としたという。

★ゆかりの人物

梶原景時(1140?~1200年)

兄頼朝からの謀殺を免れた源範頼が霊石山に潜居していたがそれを知った守護の大江広元が頼朝に伝えて梶原景時父子を追手として、差し向けた。

鎌倉殿の ~~13~~ 3人(5箇所)

大江神社



★ゆかりの人物

和田義盛(1147~1213年)
虎御前を慕って追いかけてきた

虎御前は夫(曾我十郎祐成)が斬首された後、諸国を行脚しこの地に草庵を設けると、元久2年(1205)享年33歳で亡くなるまで夫の冥福を祈り一石一字に法華經の書写を続け、発見されただけで6万9384(個)が確認されています。

能引寺



姫路 上岡田神社



成田山青龍寺



★ゆかりの人物

梶原景時(1140?~1200年)

若桜鬼ヶ城城主矢部氏は梶原景時の変で功績があり、山田(現若桜町)領地を与えられた。矢部家は元鬼ヶ城城主矢部氏の末裔と云われる。

矢部家住宅

